

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社 東京ナレッジプラン

(D) データ活用	表計算ソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
------------------	-----------------	---------------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ピボットテーブルでどんなことができるのか、そのメリットや特徴について紹介します。 【事例】ピボットテーブルの活用事例 (2)ピボットテーブル作成の前準備 ピボットテーブルを用いて集計を行う上で、その元となるデータのまとめ方や表(テーブル)の作成について学びます。 【演習】テーブルの書式設定、他 (3)ピボットテーブルの活用 ピボットテーブルの作成やレイアウトの設定、フィールドの変更など、基本的な操作について学びます。 【演習】フィルターを使ってデータを絞る、他	2.0
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ピボットテーブルをもとに作成するピボットグラフについて、構成要素や作成方法について紹介します。 【事例】ピボットグラフの活用事例 (2)ピボットグラフの種類と変更 ピボットグラフの種類と変更方法について学びます。 ピボットグラフへの、フィールド追加/削除や、データの絞り込みについて学びます。 スライサーやタイムラインの利用方法について学びます。 【演習】ピボットグラフの作成、グラフの変更、他 【演習】スライサーを使ってデータを絞る (3)その他の視覚化の方法 セルの強調やカラースケールなど、「条件付き書式」を用いた視覚化の方法について学びます。 【演習】条件付き書式の設定	2.5
	3 複数テーブルの分析	(1)リレーションシップとは リレーションシップの用途や仕組み、複数のテーブルからピボットテーブルを作成するまでの手順について紹介します。 【事例】リレーションシップの活用事例 (2)リレーションシップの設定 テーブルの準備からテーブルの関連付け、複数テーブルからピボットテーブルを作成するやり方について学びます。 【演習】リレーションシップの設定 【演習】リレーションしたデータをピボットテーブルで表示、他 (3)リレーションシップの活用例 リレーションシップを使って効率的な分析を行う活用事例を紹介します。 【事例】分析の事例	1.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ピボットテーブルの基本からピボットグラフ、スライサーなどの機能を習得することで、多角的な分析を行えるようになります。 ・ピボットテーブルを用いた集計作業では、集計の前段階として「集計を行いやすい元データを作る」ことが、集計結果を用いて正しい分析を行う上で重要であり、この訓練では、その点にもしっかりと時間を割いて説明をしていきます。 ・また、ステップごとに具体的なデータを用いた演習を行うことで、ピボットテーブル初心者の方にも、ピボットテーブルに対する理解を深めて頂けるよう、進めていきます。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
<ul style="list-style-type: none"> ・PC(受講者用) OS:Windows11 アプリケーション:Microsoft Office 365 	<ul style="list-style-type: none"> ・PC(講師用) OS:Windows10 アプリケーション:Microsoft Office 2019
●使用するテキスト	●その他
<ul style="list-style-type: none"> ・自作テキスト ・自作演習用ワークシート 	

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクタ(HDMIケーブル)、スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・青・黒) 	使用設備:プロジェクター(HDMI接続またはUSB-Type B端子またはVGA端子対応)、スクリーン、ホワイトボード